

人 チーム 制度

番外編その②!!
【女性社員編】

平成 30 年度

「女性のライフイベントと仕事の両立に係るアンケート」結果報告

女性の会 WG

関東支部「女性の会 WG」では、平成 30 年度 8 月に①建設コンサルタント協会会員企業及び②会員企業の女性社員の皆様を対象としたアンケート調査を実施致しました。ご協力いただきました皆様、お忙しい中誠にありがとうございました。

アンケート調査は、「女性の会 WG」が発足した平成 25 年から定期的を実施しており、企業編は 3 回目、女性社員編は 2 回目の実施となります。本編では、近年の労働環境の変化をアンケート調査結果から見ていきたいと思ひます。今回は、女性社員編の結果報告をいたします。

1. アンケートの概要

今回報告する女性社員編アンケートは、平成 25 年に実施しており、今回 2 回目の実施となります。

回収状況は、549 件（H25：283 件）でした。質問事項は、一部を除き概ね前回と同じ質問となっています。

2. 回答結果

①年齢構成について

40 代は減少傾向にあります。20 代の割合が増加傾向にあるため、今後、女性の活躍が促進されることが期待されます。

アンケートの概要

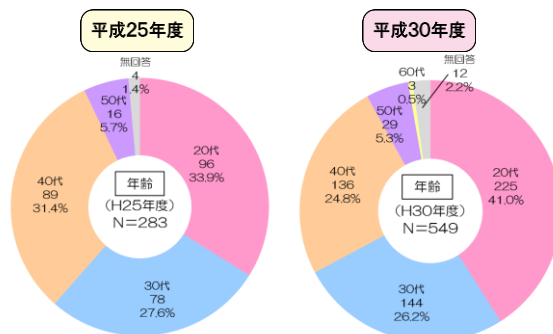
調査対象：会員企業の女性社員

（配布は各企業に一任のため配布人数不明）

調査方法：協会支部を通じて会員各社に依頼文とアンケート票をメールにて送付・回収

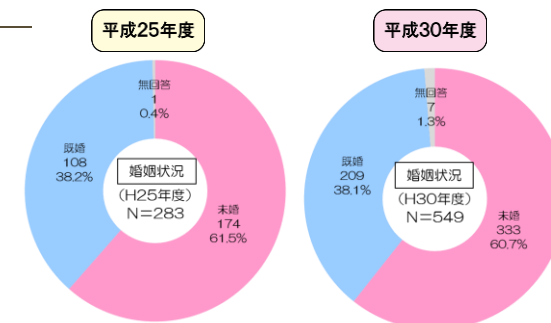
調査期間：2018 年 8 月 10 日（金）～8 月 24 日（金）
（約 2 週間）

調査内容：将来、または既に経験したライフイベントに係る女性社員の働き方・現状の課題について



②ライフイベント（婚姻状況）

結婚というライフイベントを迎えた女性社員は、平成 25 年度と同じ割合にあります。



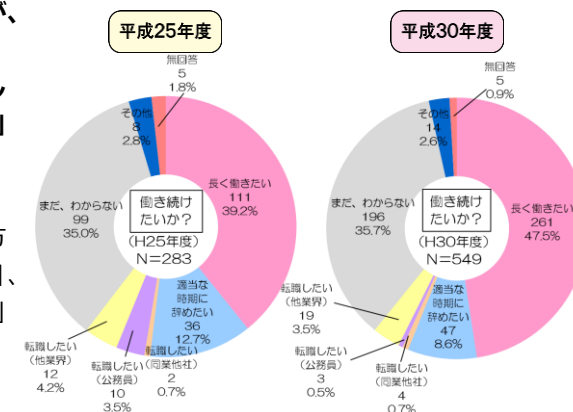
③女性社員の実情

Q. 今後建設コンサルタントとして働き続けたいですか？

「長く働きたい」と希望する人が、4 割から 5 割弱に増加しました。

その理由としては、「仕事が楽しくやりがいがある」「好きだから」といった回答が自由回答で多くありました。

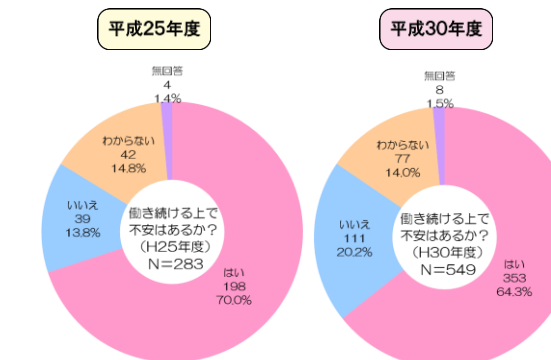
一方で、まだ分からないという方の多くは、「入社して間もないから」、「家庭と両立できるか不安だから」と回答した社員が多い傾向にありました。



Q. 働き続ける上で不安はありますか？

働き続ける上で不安を感じている方の割合は、減少傾向にありました（70%→65%）。

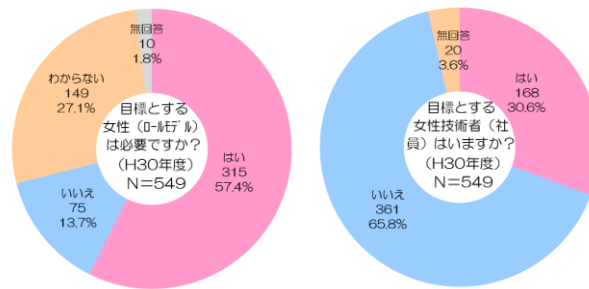
不安理由としては、「家庭との両立」と回答する方が最も多い傾向にありました。



Q. 目標とする女性（ロールモデル）は必要だと思いますか。

目標とする女性（ロールモデル）が必要と答えた方が57%（前回（H25年度）：56%）を占める一方で、**目標とする女性技術者（社員）がいないと答えた方が66%（前回（H25年度）：72%）**を占めており、前回同様、目標となるロールモデルがいらないというギャップを抱えた状態となっています。

Q: 目標とする女性（ロールモデル）は必要だと思いますか。
Q: 目標とする女性技術者（社員）はいいますか？



Q. 出産・育児・介護等の制度を利用したことがありますか。（H30年度新規項目）

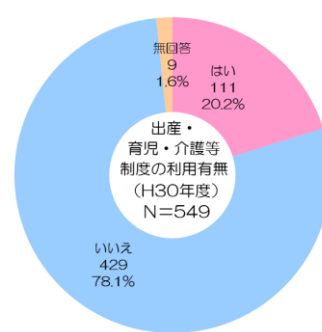
2割の方が、出産・育児・介護等の制度を利用したことがあると回答しました。

また、制度を使った方の改善してほしい支援・制度の内容は下記のとおりです。

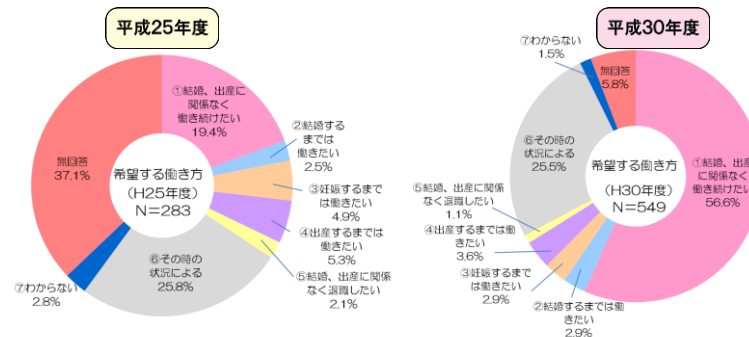
■改善してほしい支援・制度の内容

- ①男性も利用できる雰囲気醸成
- ②育児休暇中、休暇明けの対応（面談等）
- ③男性の取得促進
- ④テレワークの導入
- ⑤介護休暇の上限の拡大

Q: 目標とする女性技術者（社員）はいいますか？



Q. ライフイベントを迎えることを考えた場合の、希望の働き方について



ライフイベントに関係なく働きたい方が2割から6割に大きく増加しました。一方で、それ以外の答えを選んだ理由としては、「仕事と家事の両立が難しいと思うから」が最も多く、「出産・育児に専念したい」「社内に働く母親の事例がなく、可能性が少なく思える」の順に多い結果となりました。

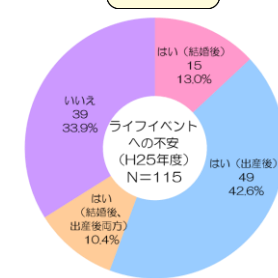
【ライフイベント（結婚・出産）の経験がある方への質問】

Q. 結婚・出産後も働き続けることに不安はありましたか？（ありますか？）

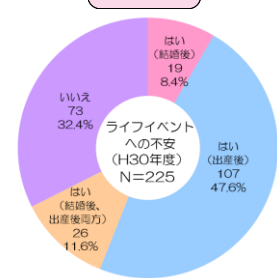
ライフイベント経験者の働き続けることへの不安は、結婚後より出産後の方が多い傾向にあります。

出産後に会社に復帰できやすい環境を整えることが、今後、女性社員が長く働き続ける上で重要であると考えられます。

平成25年度



平成30年度

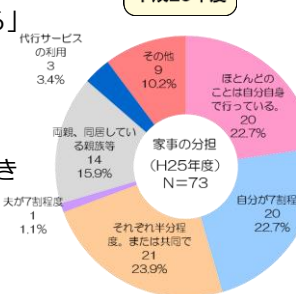


Q. 家事の分担状況について

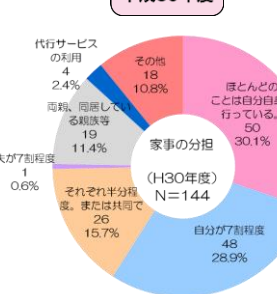
「ほとんどの事は自分自身で行っている」「自分が7割程度行っている」と答えた方の割合が増加傾向にありました。

制度の見直しや新たな取り組みが行われている中で、今後は男性を巻き込んだ意識改革がより重要となってきています。

平成25年度



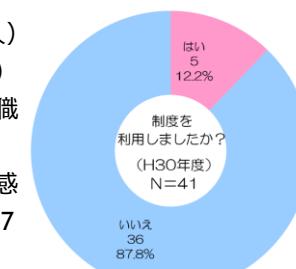
平成30年度



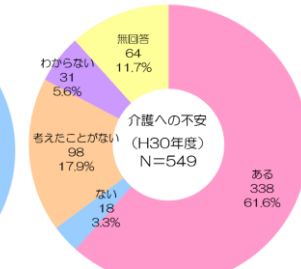
Q. 介護について

現在もしくは過去に介護の経験がある女性社員は回答者の7%（40人）で、前回（H25年度）の8%（22人）とほぼ同程度でした。また、現在の職場環境で自分が介護をする立場になった場合、働き続けることに不安を感じている女性社員は6割で、前回の7割からやや減少傾向にありました。

Q. 介護制度を利用しましたか？



Q. 介護への不安はありますか？



女性の活躍推進が進む中、建設コンサルタント業界でも職場環境の改善が進んでいます。ずっと働きたいと答えた女性社員の割合が大きく増加した一方、ライフイベントに不安を抱えている方もまだまだ多い状況です。結婚・出産は女性だけのイベントではありません。今後は、もっと男性を巻き込んだ意識改革、職場環境の改善が必要になります。今後も女性の会は、女性社員の問題改善に取り組んでまいります。